

## 令和6年度の活動計画に基づく取組結果

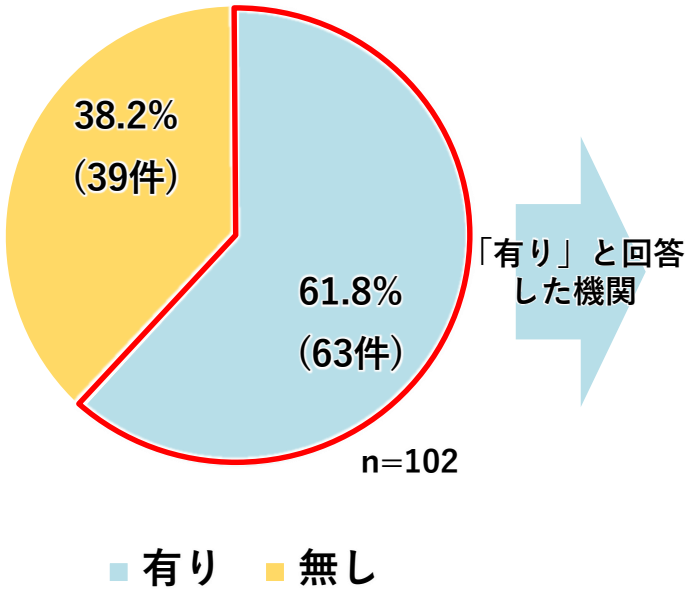
## **令和6年度の活動計画に基づく取組結果**

1. 通信や電力等のライフラインが途絶し、メール・電話・インターネット等が  
使用できない場合における情報共有体制の構築について … P.135
2. 戦略会議タイムライン実効性向上のための取り組み  
(情報共有体制の構築) について … P.141
3. 能登半島地震対応における課題を踏まえた南海トラフ地震発生時に  
想定される課題と対応策について … P.147
4. 防災シンポジウムの開催による普及・啓発 … P.160

## **1. 通信や電力等のライフラインが途絶し、メール・電話・インターネット等が使用できない場合における情報共有体制の構築について**

# 1-①. 管轄エリアの被災状況・被災情報の確認手段

Q.通信や電力等のライフラインが途絶し、メール・電話等が使用できない場合の管轄エリアの被災状況・被災情報の確認手段の有無



| 具体的な確認手段                            |                                                                                                                           |
|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 確認手段                                | 想定される問題点・懸念事項                                                                                                             |
| 衛星電話                                | ・使用方法の習熟。<br>・データの送受信が不可。<br>・荒天時や電波状況が悪い屋内等での使用不可。<br>・更新時期を迎える。<br>・使用制約による情報量の不足・遅延。<br>・据置型である場合、発災時に据え置き箇所に急行する必要あり。 |
|                                     | Starlink                                                                                                                  |
|                                     | インマルサット                                                                                                                   |
| 無線機                                 | ・無線関連施設破損等による通信障害。                                                                                                        |
|                                     | 移動無線                                                                                                                      |
|                                     | MCA無線機                                                                                                                    |
| 現場調査（目視点検）                          | ・被災地への移動手段の確保。                                                                                                            |
| ヘリコプターによる確認                         | ・飛行や被災状況の確認に天候等の影響を受ける。<br>・ヘリポートの安全確保体制。                                                                                 |
| 監視装置による確認<br>（高所監視カメラ・<br>港内設置カメラ等） | ・詳細な情報取得が困難。                                                                                                              |

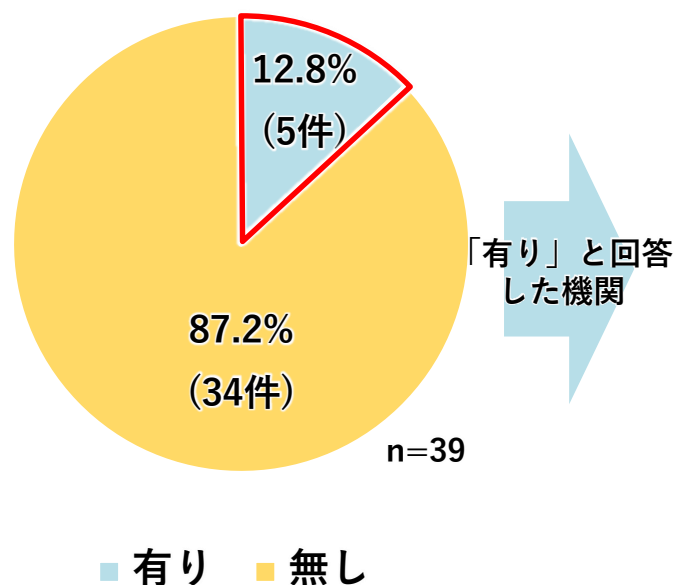
※回答：全機関

・管轄エリアの被災状況・被災情報の確認手段は、**6割以上**の機関が「**有り**」と回答している。  
・具体的な連絡手段は、衛星電話や無線機の意見が多く挙がった。

# 1-②. 被災状況・被災情報の確認手段の検討・計画

Q.被災状況を把握する手段が無い機関において、今後検討を行う予定・計画の有無

## 手段および使用可能見込時期



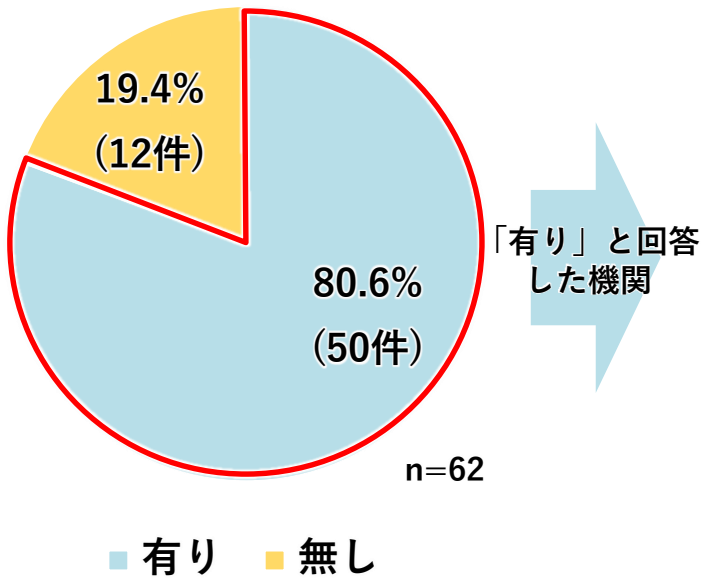
※回答：管轄エリアの被災状況・被災情報の  
確認手段の有無を「無し」と回答した機関

- ・他機関の取り組み状況を参考に構築したい。
- ・現在、当協会が有している災害情報共有システムは、スマホの利用を前提としていることから、通信手段等について他機関の事例を参考に検討したい。
- ・手段を含め、今後検討していく予定。
- ・SMSによる連絡を検討中。
- ・緊急連絡体制を見直し、手段の検討を行う。

- ・今後検討を行う予定・計画は、**1割程度**の機関が「有り」、**8割以上**の機関が「無し」と回答している。
- ・**検討手段および使用見込時期は、具体的になっていない機関が多い。**

# 1-③. 被災情報の事務局への連絡手段

Q.確認した被災状況・被災情報を戦略会議事務局に連絡する手段の有無



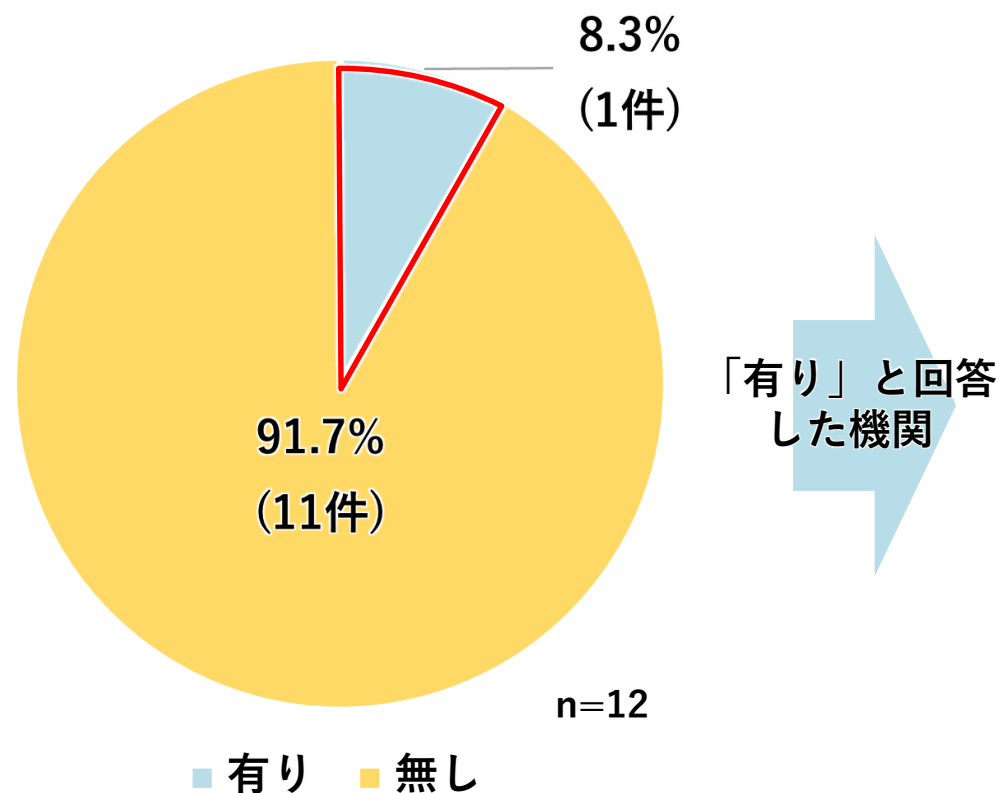
※回答：管轄エリアの被災状況・被災情報の確認手段の有無を「有り」と回答した機関

| 具体的な連絡手段        |                                                                                                                  |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 連絡手段            | 連絡を取る場合に想定される問題点・懸念事項                                                                                            |
| 衛星電話            | ・使用方法の習熟。<br>・データの送受信が不可。<br>・荒天時や電波状況が悪い屋内等での使用不可。<br>・無線機のバッテリー切れや電源供給切れ。<br>・台数の不足。<br>・現地対策本部の衛星携帯の所有や番号が不明。 |
|                 | Starlink<br>・現地対策本部側でメールを受信するための通信確保が条件となる。                                                                      |
|                 | イリジウム<br>・通信の輻輳により対応に時間を要す。                                                                                      |
| 無線機             | ・無線機のバッテリー切れ、無線基地局の燃料切れ。<br>・回線混雑による輻輳。                                                                          |
| リエゾンの派遣         | ・庁舎崩壊、代替庁舎の状況により派遣が困難。<br>・到着まで時間を要する。<br>・同時に広域的な通信所要が生じた場合は装備品が不足する可能性がある。                                     |
| 愛知県高度情報通信ネットワーク | ・日頃使用していないため、使用に時間を要する可能性がある。                                                                                    |

・被災情報の事務局への連絡手段の有無は、被災状況の確認手段が「有り」と回答した機関のうち**8割以上が「有り」と回答している。**

# 1-④. 事務局への連絡手段の導入検討・計画

Q.戦略会議事務局への連絡手段が無い機関において、今後検討を行う予定・計画の有無



## 手段および使用可能見込時期

- IP無線機または衛星電話
- 使用可能見込み時期は未定

※回答：確認した被災状況・被災情報の事務局への連絡手段の有無を「無し」と回答した機関

- 今後検討を行う予定・計画は、**9割以上**の機関が「**無し**」と回答している。
- **検討手段および使用見込時期は、具体的になっていない。**



# 1-⑤. 調査項目1における結果と今後の対応

## 結果

- ・被害状況の確認手段は6割以上の機関、事務局への連絡手段は、被災状況の確認手段が「有り」と回答した機関のうち8割以上の機関で整備されていることが確認できた。
- ・具体的な連絡手段は、衛星電話や無線機の意見が多く挙がり、各手段における問題点・懸念点を把握できた。
- ・被害状況の確認手段は4割程度の機関で整備されておらず、事務局への連絡手段は、被災状況の確認手段がある機関のうち2割程度の機関で整備されていないことが確認できた。
- ・被害状況の確認手段や事務局への連絡手段が無い機関のうち、手段の導入を検討している機関は1割程度であり、手段の導入を検討している機関でも、具体的な手段や時期は多くの機関で未定となっていた。

情報照会結果を踏まえて

## 今後の対応

| 手段「有り」機関                                                                                                                                                   | 手段「無し」機関                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・自機関の有する連絡手段のメリット・デメリットを再確認し、災害時に活用できるよう訓練等で使用方法の習熟に努めて頂く</li><li>・他機関が利用する連絡手段で、より良いものがあれば導入のための検討材料として頂く</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・導入を検討していない機関は、回答のあった連絡手段や、手段毎のメリット、デメリットを参考に手段導入のための検討材料として頂く</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・通信や電力等のライフラインが途絶した状況における有効な情報共有方法および共有事項について、構成機関と連携しながら検討を進める</li></ul>                                            |                                                                                                                |

## 2. 戦略会議タイムライン実効性向上のための取り組み (情報共有体制の構築)について

---

## 2. 調査項目2の結果と今後の対応

### 実施内容

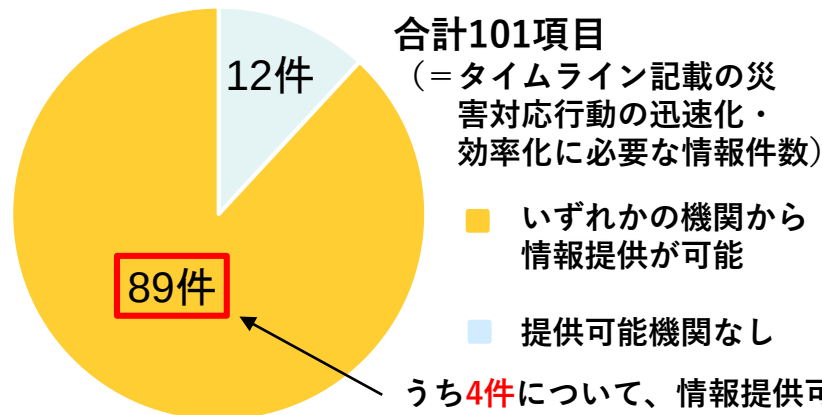
#### 【令和5年度の情報照会内容】

- ① 戦略会議タイムライン記載の災害対応行動の迅速化・効率化のために必要な情報で、現時点で入手できていない（入手の方法が分からない）ものを情報照会にて抽出。
- ② ①で抽出した情報の提供可否について、戦略会議全構成機関に意見照会し、必要な情報項目101項目のうち**89項目**は、情報提供が可能な機関がいることを確認した。

#### 【令和6年度の情報照会内容】

令和5年度に実施した情報照会の結果を再度共有し、101項目の情報の提供可否について**回答内容に変更がある機関に内容を修正・追加**いただく。

### 結果



- ・タイムライン記載の災害対応行動の迅速化・効率化のために必要な情報数（101件）のうち、各機関から提供が可能な情報項目数については**89件**で、令和5年度時点から変化がなかった。
- ・一方、いずれかの機関から情報提供が可能な**89件のうち4件**については、**新たに2機関**が情報提供が可能である旨の回答があり、**代替となる情報提供先が確保された**。

### 今後の対応

- ・情報提供ができない12件について原因や代替性を追究し、今後も各機関が必要とする情報について照会を行うとともに、既存の情報へ円滑にアクセスできるようなスキームの構築を検討し、構成員の連携強化を図る。

## <目的>

・平時(発災前)において、南海トラフ地震発生時における各機関の取り組みの相互関係をタイムラインとして整理することで、関係機関の横の繋がり、連携を強化する。

## <被害想定>

### ○地震発生～24時間

#### 1.南海トラフ地震の発生

- ・駿河湾から三重県南東沖を震源とする最大震度7、震度6強以上の地震が静岡県～三重県で発生。
- ・中部3県の沿岸部に大津波警報発表。

#### 2.地震による人的被害

- ・広範囲で住宅の倒壊、火災が発生し、人命救助が必要。
- ・山間地において、斜面崩落が発生し民家に被害。

#### 3.地震によるインフラ被害・物的被害

- ・高速道路及び一般道は多くの箇所で通行不可、鉄道は停止。
- ・通信は一部不通、広域に通信制限。
- ・広範囲で建物倒壊、火災が発生。
- ・原発、コンビナート火災等リスク。

#### 4.巨大津波の発生

- ・駿河湾から三重県南東沖にかけて、津波が襲来。

#### 5.津波による人的被害

- ・津波浸水により多数の被害者、建物、高台における孤立者多数。

#### 6.津波によるインフラ被害・物的被害

- ・津波浸水により沿岸部を中心に道路・鉄道が浸水。
- ・建物倒壊、コンビナート被害多数。
- ・港湾施設、飛行場・ヘリポート、船舶、コンテナ被害、航路障害の発生

### ○24時間～72時間

- ・大津波警報の解除と浸水域内被害の顕在化
- ・余震による継続的な被害(建物倒壊、土砂災害・ダム漏水等)
- ・浸水域内の孤立者や、病院における患者の衰弱
- ・インフラ等機能不全の継続(道路・鉄道・通信の寸断)

なお、タイムライン上で使用している機関名については下記のとおり

## 凡 例

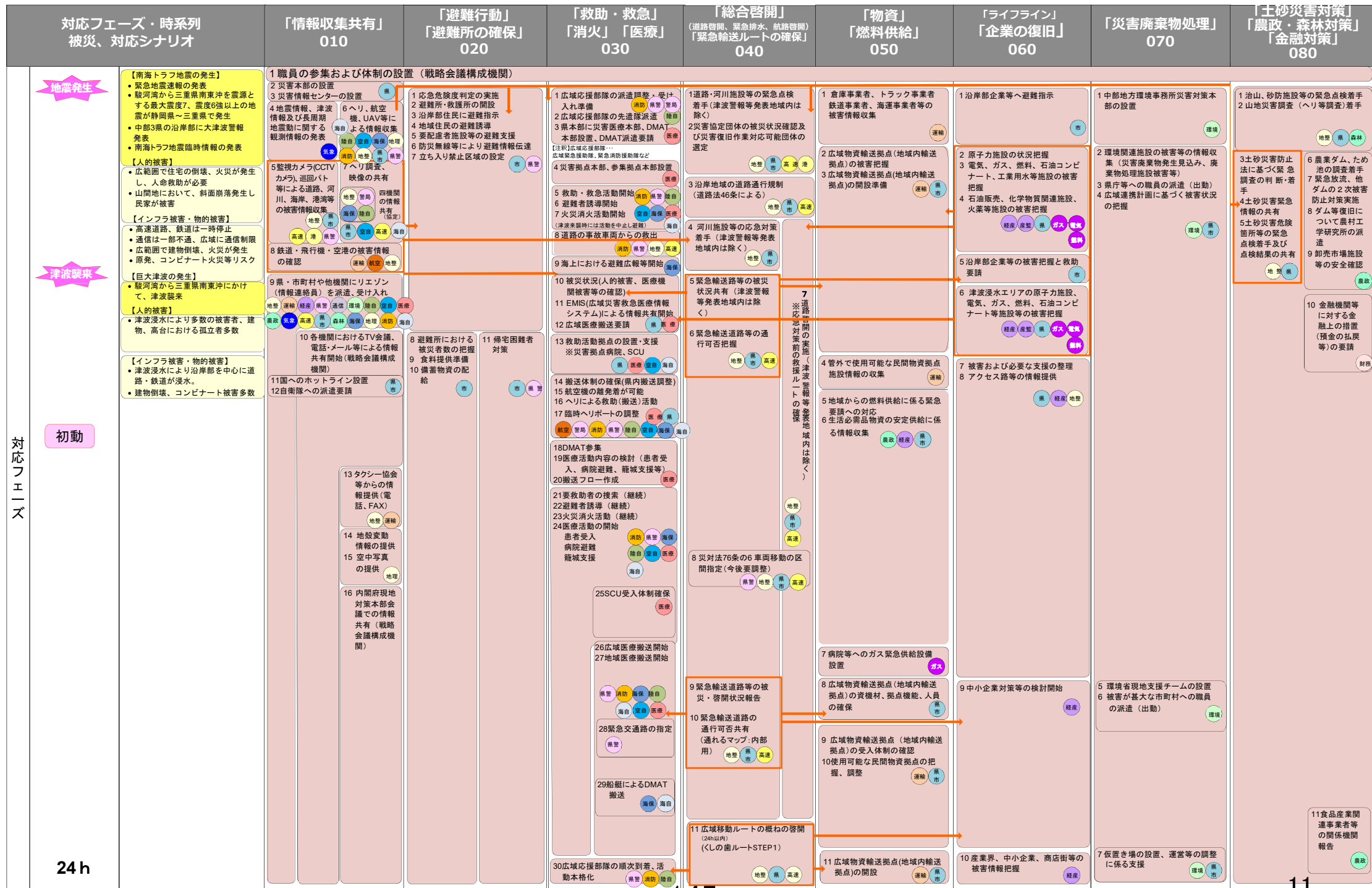
|                                                                                     |                              |                                                                                     |                    |                                                                                       |               |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
|  | 中部管区警察局                      |  | 高速道路会社 (NEXCO、名高速) |  | 中部地方環境事務所     |
|  | 県警察本部                        |  | 国土地理院中部地方測量部       |  | 陸上自衛隊第10師団    |
|  | 東海総合通信局                      |  | 東京航空局<br>大阪航空局     |  | 航空自衛隊中部航空方面隊  |
|  | 東海北陸厚生局                      |  | 港湾管理者 (名古屋港、四日市港)  |  | 海上自衛隊横須賀地方総監部 |
|  | 災害医療部会構成機関<br>(DMAT、日本赤十字社等) |  | インフラ企業(電力・ガス・燃料)   |  | 県・市 ※戦略会議構成機関 |
|  | 中部経済産業局・関東経済産業局              |  |                    |  |               |
|  | 中部近畿産業保安監督部<br>関東東北産業保安監督部   |  | 中部森林管理局            |  | 東海農政局         |
|  | 中部運輸局                        |  | 市消防局 ※戦略会議構成機関     |  | 名古屋税関         |
|  | 中部地方整備局                      |  | 名古屋地方気象台           |  | 名古屋国税局        |
|                                                                                     |                              |  | 第四管区海上保安本部         |                                                                                       | 東海財務局         |

# 中部圏戦略会議 関係機関が発災前に取り組むべき事項

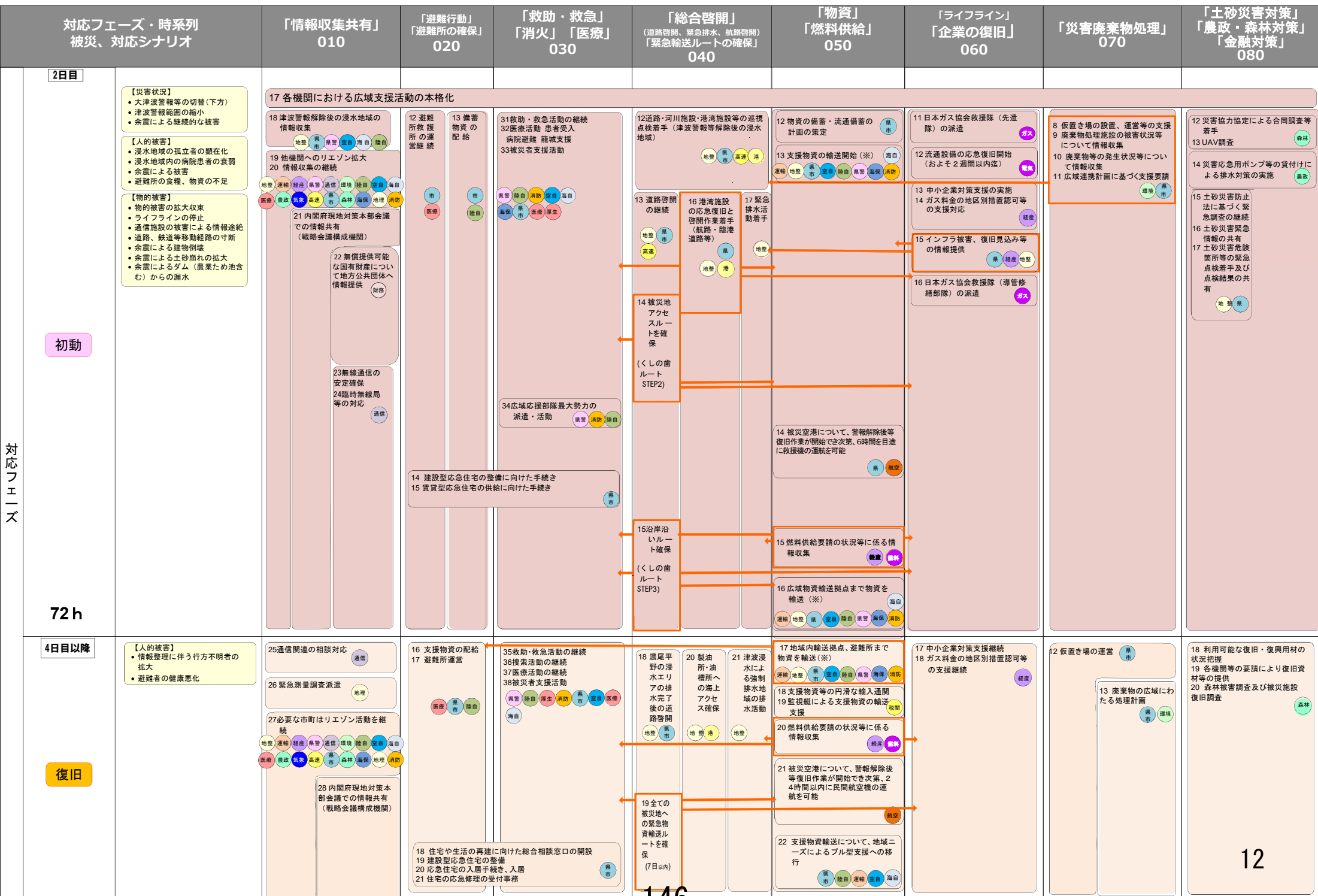
| 対応フェーズ・時系列<br>被災、対応シナリオ |                     | 情報収集共有<br>001                                          | 避難の推進<br>002                         | 人命救助救<br>援、医療総<br>合啓開<br>003                                                                                                   | 物流・物資輸送<br>燃料確保<br>004                                                              | ライフライン<br>企業の復旧<br>005                                     | 災害廃棄物処理<br>006                                      | 災害に強い<br>地域づくり<br>(まちづくり)<br>007 | 防災意識向上<br>教育、訓練<br>008                            |
|-------------------------|---------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------|
| 発災前                     | 【公的機関の法律、計画の<br>策定】 | 1 防災計画等による関係機関相互の連絡体制の構築<br>                           | 1 避難計画の策定<br>                        | 1 総合啓開（中部版「くしの歯作戦」、排水計画、航路啓開）に関するオペレーション計画策定<br>                                                                               | 1 災害発生時における交通規制等の計画策定<br>                                                           | 1 BCP策定支援などによる発災時の備えおよび啓発<br>                              | 1 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画の策定<br>                          | 1 地域の強靱化計画策定および支援<br>            |                                                   |
|                         | 【インフラ、街づくり等のハード対策】  | 2 大規模災害発生時における映像共有に関する申し合わせ（平成25年11月15日）<br>           | 2 避難ビル、避難所等の整備<br>3 浸水標識、築山などの整備<br> | 2 緊急通行車両等に係る事前届出<br><br>関係団体等との連携調整<br>3 道路啓開と人命救助の連携<br><br>4 建設業協会等関連団体との災害協定<br>                                            | 2 広域物資輸送拠点（地域内輸送拠点）の選定、運用計画の策定<br><br>3 中核SS、小口配送拠点、住民拠点SSの整備<br>災害に強い物流システムの構築<br> | 2 サプライチェーンの強靱化支援<br><br>3 ガス・電気施設の設備対策<br>高圧配電車等の車両の準備<br> | 2 自治体の災害廃棄物処理計画の策定支援<br><br>3 他の自治体、関係団体等との協定締結<br> |                                  | 1 各種計画に基づく訓練の実施<br><br>2 自助、共助、公助の各視点による教育の実施<br> |
|                         | 【防災に関する啓発・ソフト対策】    | 関係団体等との災害協定<br>6 災害協定による自動パトロール<br>7 タクシー協会からの情報提供<br> | 4 帰宅困難者対策<br>                        | 自治体における受援計画の策定<br>5 防災拠点等の運用計画<br>6 連絡体制の構築<br><br>インフラ整備等の事前対策<br>7 橋梁耐震補強<br>8 堤防、排水機場の耐震化<br>9 道路ネットワークの機能強化<br>10 落石対策<br> | 4 関係団体等との連携調整<br>トラック協会、倉庫協会との災害協定<br>                                              |                                                            |                                                     |                                  |                                                   |



# 南海トラフ地震を想定した中部圏戦略会議タイムライン（地震発生～24時間）



# 南海トラフ地震を想定した中部圏戦略会議タイムライン（24時間～72時間～復旧）



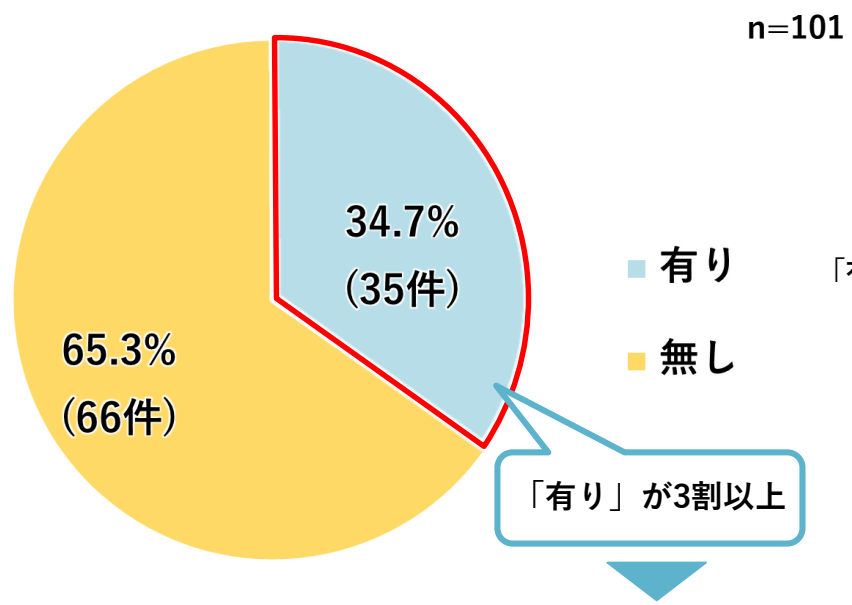
### **3. 能登半島地震対応における課題を踏まえた 南海トラフ地震発生時に想定される課題と対応策について**

---



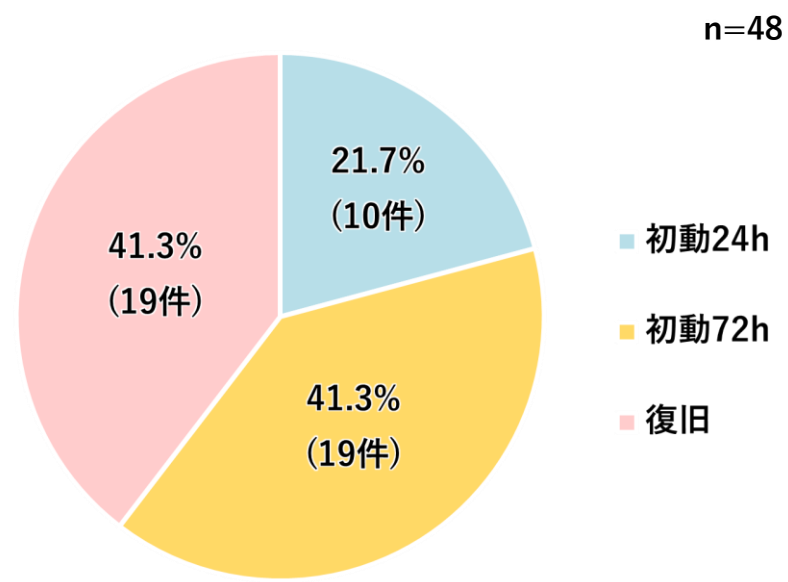
# 3-①. 能登半島地震対応を踏まえた災害対応における課題

Q.能登半島地震での支援活動を経て、新たに防災計画等（支援・受援）の見直しの必要性が確認された事項の有無



- 見直しの必要がある事項（各機関からの回答）を5つに分類
- ①人材確保
  - ②資機材確保
  - ③情報共有体制・基盤
  - ④拠点確保
  - ⑤支援・受援体制

Q.防災計画等（支援・受援）の見直しの必要性が確認された事項に該当するフェーズ



※「すべてのフェーズに該当する」という回答は全てのフェーズにカウント

各フェーズで回答内容を分類毎にとりまとめ

# 3-②. 各フェーズでの見直しの必要性が確認された事項

## フェーズ：初動24時間

### ②資機材確保

- ・女性や子供に配慮した災害備蓄品の不足（生理用品やおむつ等）（関東財務局）

### ④拠点確保

- ・活動拠点の確保（中部経済産業局）

### ⑤支援・受援体制

- ・緊急物資輸送等に関する支援体制（北陸信越運輸局）
- ・部隊活動における体制（岐阜県警察本部）
- ・孤立地域への支援（中部地方整備局）
- ・道路啓開活動の連携（中部電力株式会社）
- ・組合防災計画の受援に関する記載（名古屋港管理組合）
- ・労務環境の整備（中部電力株式会社）
- ・宿泊施設のバックオフィスでの一括手配（中部経済産業局）
- ・ヘリ、ドローン、レンタカーの迅速な活用について（中部電力株式会社、中部経済産業局）
- ・派遣部隊の編制（中部運輸局）

# 3-②. 各フェーズでの見直しの必要性が確認された事項

## フェーズ：初動72時間

### ①人材確保

- ・空路、海路による資機材、人員輸送（ソフトバンク株式会社）

### ③情報共有体制・基盤

- ・冬期（降雪期）の道路情報の収集（総務省信越総合通信局）
- ・自衛隊、消防、警察、自治体等の関係機関がS I P 4 Dを活用（陸上自衛隊第1師団）
- ・マンション管理会社間の連携（一般社団法人マンション管理業協会 中部支部）

### ④拠点確保

- ・半島など遠隔地の復旧に向けた拠点の確保（株式会社 NTTドコモ）
- ・支援者の拠点の確保（環境省中部地方環境事務所、浜松市）
- ・応急復旧に必要な資機材を保管する場所の確保（発電機、可搬型基地局、移動基地局車両等）（ソフトバンク株式会社）

### ⑤支援・受援体制

- ・自県が被災した場合の受援体制の構築（日本赤十字社 愛知県支部）
- ・人命救助に係る要請（陸上自衛隊第10師団）
- ・支援体制等の構築（名古屋法務局、愛知県警察）
- ・各機関の応援・受入計画との整合・見直し（静岡県、静岡市、三重県、全国消防長会 東海支部長）
- ・派遣部隊の編制（中部運輸局）
- ・リエゾン派遣の見直し（総務省 東海総合通信局）

# 3-②. 各フェーズでの見直しの必要性が確認された事項

## フェーズ：復旧

### ③情報共有体制・基盤

- ・光回線喪失に対してのStarlink等の回線準備（楽天モバイル株式会社）
- ・災害対策用移動通信機器（衛星インターネット（スターリンク））等の増配備（総務省 東海総合通信局）
- ・道路啓開情報の早期開示（KDDI）

### ④拠点確保

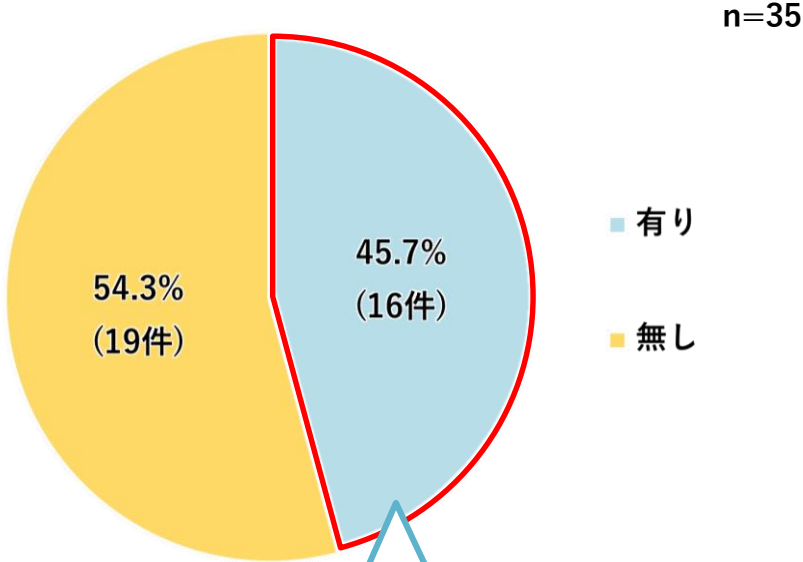
- ・復旧作業のためのスペース・ルート・拠点の確保（西日本電信電話株式会社 東海支店、東京電力ホールディングス株式会社）
- ・応援機材の置き場のスペース確保、および管理（KDDI、中部電力株式会社）
- ・被害調査・踏査のための作業基地の確保（一般社団法人 中部地質調査業協会）
- ・宿泊、食事先の確保（KDDI、一般社団法人 中部地質調査業協会）

### ⑤支援・受援体制

- ・被災地における空港運用再開に向けた支援体制の強化（東京航空局）
- ・ガイドライン・各種計画の改正（大阪航空局）
- ・プッシュ型支援実施（中日本高速道路株式会社 名古屋支社、中日本高速道路株式会社 東京支社）
- ・派遣部隊の編制（中部運輸局、静岡県警察本部）
- ・応援職員等の受け入れ（岐阜県）
- ・早期復旧体制の構築（伝送路・電力・公費解体）（KDDI、環境省中部地方環境事務所）

# 3-③. 対応策実施に向けた関係機関との連携

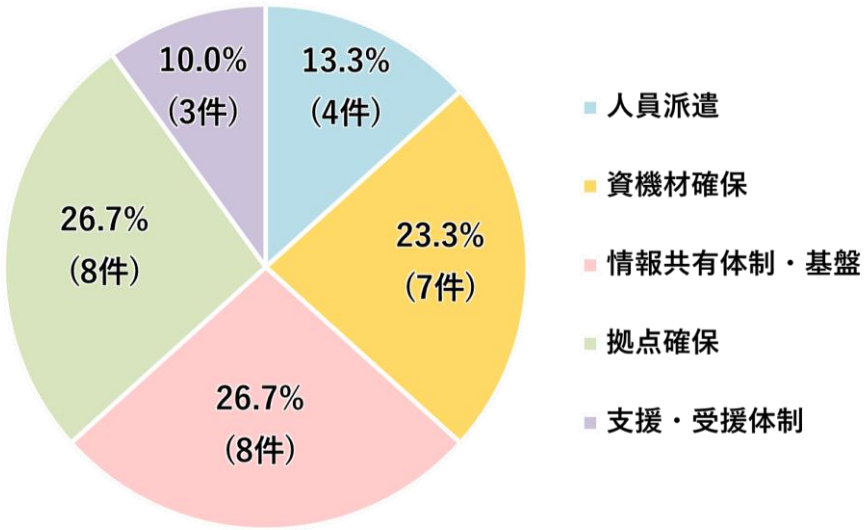
Q.新たに防災計画等（支援・受援）の見直しを実施するにあたり、協力を依頼したい構成機関の有無



※依頼内容毎に回答

35機関中16機関が協力を依頼したいと回答

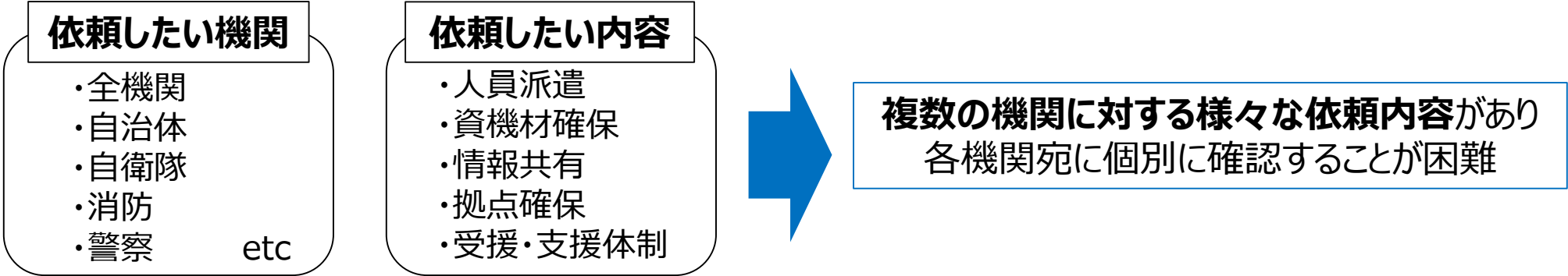
Q.協力を依頼したい内容の分類



各機関への依頼内容が実施可能であるのか回答いただく必要がある

▶ **第2回照会の実施**

# 3-④. 第2回照会の実施方針



## 第2回照会の実施方法

- ・第1回照会と同様にExcelでの照会を実施する。
- ・依頼したい内容リストを作成し、**全機関**に確認してもらう。**協力を依頼したい機関に自身の所属する機関が含まれている項目を回答**していただく。
- ・自身の所属する機関が協力を依頼したい機関に含まれていないが、**協力可能な内容があれば回答**していただく。

### 例) 自治体が回答する場合

自身の所属する機関が含まれている

自身の所属する機関が含まれていない

| 依頼したい機関        | 依頼内容 | 回答   | 回答記入 |
|----------------|------|------|------|
| 自治体            | ○○○○ | 回答記入 |      |
| 陸上自衛隊<br>海上自衛隊 | ○○○○ | 回答記入 |      |
| ...            | ...  | ...  |      |

依頼内容が自身の機関でも協力可能であれば回答記入

3-⑤. 第2回照会結果

①人員派遣

| 依頼したい機関                      | 依頼内容                                                                              | 回答                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 県および地方自治体                    | 宿泊、食事先の確保<br>(中部地質調査業協会)                                                          | 宿泊先として使用可能な公共施設を確保済み。規模や業務により割り振りを行う。<br>(静岡市)                                                                                                                                                                                |
| 各自治体<br>施設管理者                | 支援者（廃棄物の収集運搬等に関する作業員や<br>応援自治体の職員等）の宿泊拠点について、発災<br>後に使用可能な施設の有無<br>(環境省中部地方環境事務所) |                                                                                                                                                                                                                               |
| 指定行政機関<br>指定地方行政機関<br>県市町村の長 | 応急措置（航路啓開等）の実施に必要な労務担<br>当者の確保<br>(名古屋港管理組合)                                      | リエゾン派遣<br>(中部地方整備局 港湾空港部)                                                                                                                                                                                                     |
| 行政機関                         | 復旧作業員の宿泊先の被災地近傍での確保<br>(KDDI)                                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>・税務署が維持管理する省庁別宿舍について、居住<br/>が困難になった職員等に対する代替宿舍の確保等<br/>を行った上で、各種法令等及び業務に支障のない<br/>範囲で可能な限り受け入れる。<br/>(関東信越国税局)</li><li>・各自治体からの要請により、応急的な住まいとして<br/>国家公務員宿舍を無償貸与。<br/>(関東財務局)</li></ul> |



3-⑤. 第2回照会結果

②資機材確保

| 依頼したい機関                      | 依頼内容                                                                    | 回答                                                   |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 県                            | 災害対策用移動通信機器等の被災自治体の要求<br>とりまとめ等<br>(総務省 東海総合通信局)                        | 災害対策本部にて市町のニーズを聞き取り、<br>とりまとめる<br>(静岡県)              |
| 指定行政機関<br>指定地方行政機関<br>県市町村の長 | 応急措置の実施に必要な物資（什器、燃料等）の確保<br>(名古屋港管理組合)                                  | 災害協定に基づき協定締結団体からの支援が可能<br>(中部地方整備局 港湾空港部)            |
| 海上自衛隊<br>航空自衛隊<br>海上保安庁      | 陸路が遮断された場合の空路もしくは海路での資機材<br>(発電機、可搬型基地局、移動基地局車両等)の輸送<br>(ソフトバンク株式会社)    | 人命救助が最優先とするので、実施できる場合は<br>協力する。<br>(第四管区海上保安本部)      |
| 陸上自衛隊<br>海上自衛隊               | 自衛隊と連携した道路・橋梁使用不可時における電源車や資機材<br>輸送手段の確立<br>(東京電力ホールディングス株式会社)          | 艦艇等で目的地近傍の使用可能な港湾までの<br>輸送支援<br>(海上自衛隊横須賀地方総監部)      |
| 中部地方整備局 等                    | 公費解体に伴い発生した再生資材の活用および活用先での保管<br>(廃棄物の仮置場でのコンガラ等の滞留解消)<br>(環境省中部地方環境事務所) | 回答なし                                                 |
| 県および地方自治体                    | ボーリング調査用の水の確保<br>(中部地質調査業協会)                                            | 静岡市上下水道局で所有する給水車および生成する水道<br>水の提供を行うことができる。<br>(静岡市) |
| 中部運輸局<br>中部地方整備局<br>中部経済産業局  | 航空燃料及び復旧支援車両の燃料確保<br>(大阪航空局)                                            | 航空燃料について、静岡空港及び県内各地に確保されてい<br>る。<br>(静岡県)            |



3-⑤. 第2回照会結果

③情報共有体制・基盤

| 依頼したい機関                     | 依頼内容                                                                        | 回答                                                                                                |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中部運輸局<br>中部地方整備局<br>中部経済産業局 | 空港周辺の道路啓開状況の共有<br>(大阪航空局)                                                   | 常滑港周辺の臨港道路であれば可能<br>(中部地方整備局 港湾空港部)                                                               |
| 中部地方整備局<br>国土地理院            | TEC-FORCEの保有する道路の寸断や啓開情報・啓開計画の共有<br>国土地理院の保有する被災地の写真データの共有<br>(中部経済産業局)     | 空中写真撮影を実施した場合は、拠点空港に着陸後、斜め写真及び垂直写真（速報版）を6時間程度で提供可能、垂直写真（測量用）は30時間で提供可能（国土地理院）。<br>(国土地理院 中部地方測量部) |
| 愛知県<br>三重県（消防）              | 要請系統の一本化<br>一例）人命救助に係る要請は、全て一度県（消防）に集約し、県（消防）が救助機関・要領の配分をする<br>(陸上自衛隊第10師団) | 回答なし                                                                                              |
| 地方自治体                       | 緊急的に当庁へ避難がなされた場合に、以後の対応に関する自治体等の連絡窓口情報、避難所・避難施設に関する情報提供<br>(名古屋法務局)         | 開設中の避難所情報を災害対策本部を通して提供可能<br>(名古屋市)                                                                |
| 行政機関                        | 道路啓開情報の早期開示<br>(KDDI)                                                       | 管理道路の道路啓開（復旧）情報の提供<br>(名古屋高速道路公社)                                                                 |
| 回線事業者<br>(NTT等)             | 回線切断の早期解消<br>(KDDI)                                                         | 重要な施設をカバーする携帯基地局への専用線・ダークファイバは72時間を目標に優先的に対応します。<br>(東日本電信電話株式会社 長野支店)                            |
| 電力会社                        | 停電の早期解消<br>(KDDI)                                                           | 被災エリアに対して、およそ2週間以内に一部の浸水エリアや土砂崩れによる孤立世帯等を除き、応急復旧を完了させ、電力供給を確保します。<br>(中部電力株式会社)                   |
| 警察<br>消防<br>自治体             | SIP4Dの導入、活用に必要な関係機関合同の訓練<br>(JXR等)の実施<br>(陸上自衛隊第1師団)                        | 県総合防災訓練等において、内閣府のISUTチームとSIP4Dを活用した訓練を既に実施している。<br>(静岡県)                                          |

3-⑤. 第2回照会結果

④拠点確保

| 依頼したい機関                      | 依頼内容                                                   | 回答                                                 |
|------------------------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 指定行政機関<br>指定地方行政機関<br>県市町村の長 | 応急措置（航路啓開等）の実施に必要な施設・設備の確保<br>（名古屋港管理組合）               | 回答なし                                               |
| 全機関                          | 被災地の復旧に当たり、車両の駐車や復旧活動時の集合場所として利用できる用地の一時貸出<br>（NTTドコモ） | 敷地内の駐車場等（10台程度）使用可能<br>（中部森林管理局）                   |
| 県および地方自治体                    | 被害調査・踏査に必要な作業基地の確保<br>（中部地質調査業協会）                      | 現在当市で災害時使用可能用地の調整中。必要な条件によって用地の割り振りを実施する。<br>（静岡市） |
| 全機関                          | 復旧資材、車両等のスペース提供<br>（西日本電信電話株式会社）                       | 保有施設の駐車場の提供<br>（東海農政局）                             |
| 自治体                          | 発電機、可搬型基地局、移動基地局車両等の保管場所の提供<br>（ソフトバンク株式会社）            | 本市での利用調整を経て、オープンスペース（公園、緑地等の空間）を提供可能<br>（名古屋市）     |
| 行政機関                         | 被災地近傍での可搬型基地局、車載型基地局、発動発電機など資材の置き場確保（屋内外問わず）<br>（KDDI） | 被災の状況によるが、可能な範囲で資機材等の置き場の確保を行う。<br>（四日市港管理組合）      |
| 各自治体<br>関係機関 他               | 避難所を使用しない応援要員のためのトイレやごみ処理等に備えた施設の整備<br>（中部電力株式会社）      | 宿泊先の提供<br>（浜松市）                                    |
| 県                            | 総務省及び通信事業者等の復旧作業にかかる部屋（リエゾンルーム）の確保<br>（総務省 東海総合通信局）    | 県庁内にリエゾンが使用するスペースを確保している。<br>（静岡県）                 |

3-⑤. 第2回照会結果

⑤ 支援・受援体制

| 依頼したい機関                   | 依頼内容                                                                                               | 回答                                                                                                                                                                  |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中部地方整備局<br>各自治体<br>関係機関 他 | 道路啓開活動の実績を踏まえた実災害時における各機関の防災部署・道路部署等の部門を横断した枠組みの構築<br>(中部電力株式会社)                                   | ・臨港道路であれば情報提供可能<br>(中部地方整備局 港湾空港部)<br>・静岡県小分科会に参加し、静岡国道事務所・静岡県等と連携を図っている。静岡市防災訓練にて、上下水道局やしずてつ等も参加し、災害時に連携のとれる体制としている。<br>(静岡市)                                      |
| 航空局<br>各自治体<br>関係機関 他     | 緊急用務空域に指定された際の迅速な対応に向けた運用整備（陸路が寸断された際、迅速な情報収集、資機材・人員輸送等に活用する重要な手段であるため、運用を整備する必要がある）<br>(中部電力株式会社) | ・ヘリコプター用着陸施設の確保<br>(中部国際空港株式会社)<br>・空域管理・許認可の柔軟運用について、都道府県から国土交通省航空局に依頼することで、各種空域の設定が可能。空港における航空保安業務提供時間延長については都道府県等のから当該空港事務所等への要請を行うことにより空港運用時間の拡大が可能。<br>(東京航空局) |
| 各自治体<br>関係機関 他            | 協定等を締結している機関と連携した用地・資機材・燃料・食糧品の確保・配分<br>(中部電力株式会社)                                                 | ・道路啓開、道路の応急復旧に係る資機材の確保。<br>((一社)日本道路建設業協会中部支部)<br>・締結協定に則した用地の貸し出し。<br>(静岡市)<br>・当社施設復旧に関連する復旧作業等の場合であれば、用地の確保は可能であると考えられる。<br>(名古屋鉄道株式会社)                          |

# 3-⑥. 調査項目3の結果と今後の対応

## 結果

### 【第1回照会】 回答機関数：101／123

- ・ 回答のあった101機関中**35機関**が、能登半島地震での支援活動を経て、新たに防災計画等（支援・受援）の見直しの必要性が確認された事項について「**有り**」と回答した。
- ・ 新たに**防災計画等（支援・受援）の見直しの必要性が確認された事項の内容、フェーズ**を把握できた。
- ・ 防災計画等（支援・受援）の見直しの実施にあたり、35機関中**16機関**が**協力を依頼したい構成機関がある**と回答した。

### 【第2回照会】 回答機関数：95／123

- ・ 各機関の依頼内容に対する実施可否、具体的な実施内容、実施するフェーズを把握できた。
- ・ 回答のあった95機関中**4機関**から、依頼したい機関に自身の所属する機関が含まれない依頼内容に対して「**実施できる**」との回答が得られた。
- ・ 第1回照会結果より整理した、各機関へ確認を依頼したい30の内容のうち、**27の依頼内容**については「**実施できる**」との回答が得られた。**3の依頼内容**については「**実施できる**」との回答が得られなかった。

情報照会結果を踏まえて

## 今後の対応

- ・ 回答が得られなかった依頼内容を含め「戦略会議タイムライン実行性向上のための取り組み」とともに、構成機関で情報共有を図りながら連携を深める。

## 4. 防災シンポジウムの開催による普及・啓発

---



# 中部ライフガードTEC2024(シンポジウムの開催 & 戦略会議ブースの出展)

- 令和6年11月28日(木)～29日(金)の2日間で、ポートメッセなごやにて開催され、**8961人**が来場
- イベント内で開催されたシンポジウム「日常(いつも)を取り戻すために～南海トラフ地震を乗り越える～」では、戦略会議委員でもある名古屋大学の福和名誉教授がファシリテーターを務められ、中部地方整備局からも佐藤局長が参加
- 「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」のブースも出展し、戦略会議の取り組みについて周知・啓発活動を行いました

## シンポジウム 「日常(いつも)を取り戻すために～南海トラフ地震を乗り越える～」



ファシリテーター 名古屋大学 名誉教授 福和 伸夫 氏

パネリスト 中部地方整備局 佐藤局長

パネリスト トヨタ自動車(株) 総務部担当部長 植松 良太 氏

パネリスト 名古屋医学部付 属病院 救急科長 山本 尚範 氏

パネリスト (公社)3.11メモリアルネットワーク代表 武田 真一 氏



当日のシンポジウムの様子

## 戦略会議ブース

03 南海トラフ地震対策中部圏戦略会議



展示ブースの様子



ご来場された方々へパネル・パンフレットの説明